

# 令和4年度使用中学校教科用図書 調査研究 報告書

## 種目 社会（歴史的分野）

	観点1 基礎・基本の定着	観点2 主体的に学習に取り組む工夫	観点3 内容の構成・配列・分量	観点4 内容の表現・表記	観点5 言語活動の充実
	○教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫	○問題解決的な学習、体験的な学習などを取り入れるなど、生徒の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫	○伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量 ○教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量	○有効なさし絵・地図・図表などの資料等 ○生徒にとって親しみやすい表現・表記	○教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力等の育成に資する言語活動の工夫
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を7章構成とし、第1章で歴史学習の進め方を、第2章～第7章で章ごとに社会の変化と対応させてその内容を示している。</li> <li>1単位時間の内容を見開きとして、タイトル右に「学習課題」として「どのような・どのように」という問いかけを記載しており、1単位時間における課題を提示している。</li> <li>各見開きページの左下に世紀や時代を表すスケールを付け、この学習が全体の中でどの位置にあるかを示している。</li> <li>1単位時間の学習課題に対するまとめを「チェック」として見開きページの右下に示している。</li> <li>本文中の行間に掲載資料のページや番号を入れたり、ページ端にある語句解説欄の番号を入れている。</li> <li>「読み取る」「まとめる」等の基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」のコーナーを設けている。(P.25,P.33等)</li> <li>各章末に語句や年表を用いてその章の学習をふり返り、基礎的・基本的な事項についてまとめる部分を設けている。(P.58,P.94等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の冒頭に「導入の活動」として年表や絵画・写真資料等を入れている。活動を通して生徒が章の課題をつかむように構成し、「探究課題」と「探究のステップ」を明示している。(P.18-P.19,P.62-P.63等)</li> <li>掲載資料等をどのように読み解けば学習課題の追究に繋がるのかを理解させるために「見方・考え方」の欄を設けている。(P.26,P.32等)</li> <li>各章末にその章の探究課題をステップに沿ってまとめ、課題を解決するシートを掲載している。</li> <li>各章末に「まとめの活動」として、思考ツール等を用いたまとめを行うようにしている。(P.60-P.61,P.96-P.97等)</li> <li>ICTを活用しての学習を進めやすくするために「Dマーク」を付け、二次元バーコードからインターネットを利用した学習ができるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭で日本の国宝、重要文化財、巻末で主な史跡を紹介し、ページ内の資料等にも国宝や重要文化財、世界遺産のマークを入れている。</li> <li>掲載資料に「分野関連マーク」「教科関連マーク」を入れ、他分野や他教科との関連内容について示している。(P.25,P.28,P.29等)</li> <li>各章末に「資料から発見」「もっと歴史」「地域の歴史を調べよう」で、人々の暮らしや地域の伝統文化等を紹介している。(P.52-P.57,P.88-P.93等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを採用し、1ページあたりの行数を20行まで、1行あたりの文字数を28字としている。内容本文のページについてはほぼ全てのページを同一レイアウトとしている。</li> <li>色彩デザインに関する専門家に編集協力を依頼し、全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされている。また、特別支援教育に関する校閲も行われている。</li> <li>先生と生徒のキャラクターが章始めの学習課題設定の場面と章末の学習課題の解決場面で登場し、学習を促すことばを掛けている。(P.18-P.19,P.59-P.61等)</li> <li>章始めの年表等に歴史上の人物を漫画絵で表現したり、「導入の活動」に時代の様子を表現したりする絵を使用している。(P.18,P.62等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで対話的に取り組む「みんなでチャレンジ」を入れている。(P.19,P.22等)</li> <li>1単位時間の学習課題に対するまとめの「チェック」の後に、文章表現を行わせる「トライ」を見開きページの右下に付けている。</li> <li>各章末に「まとめの活動」として、思考ツール等を用い、分析や考察に基づいて時代の特色を文章でまとめるようにしている。(P.60-P.61,P.96-P.97等)</li> </ul>
自由社	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を7章構成とし、序章で歴史のとらえ方を、第1章～第6章で章ごとに社会の変化に対応させてその内容を示している。</li> <li>1単位時間の内容を見開きとしてタイトル下に「学習課題」として「どのような・どのように」という問いかけを記載しており、1単位時間における課題を提示している。</li> <li>各見開きページの左下に世紀や時代を表すスケールを付け、この学習が全体の中でどの位置にあるかを示している。</li> <li>1単位時間の学習課題に対するまとめを「チャレンジ」として見開きページの右下に示している。</li> <li>本文中の行間に掲載資料のページや番号を入れたり、ページ端にある語句解説欄の番号を入れている。</li> <li>本文の内容や登場人物を詳しく解説するために「歴史の言葉」「知っ得ポイント！」等の欄を設けている。(P.22,P.27,P.49等)</li> <li>各章末に復習問題や年表を用いてその章の学習を振り返り、基礎的・基本的な事項についてまとめる部分を設けている。(P.66-P.68,P.102-P.104等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の冒頭に生徒2人のキャラクターによる会話を掲載し、章の学習内容につなげている。「登場人物紹介コーナー」を設け、小学校で学んだ主な人物を、時系列で写真とともに示している。(P.69等)</li> <li>各章末に「時代の特徴を考えるページ」を設け、その時代区分の特徴を大きくとらえるための問題を設定している。</li> <li>各章末に「対話とまとめ図のページ」を設け、兄弟・姉妹の会話文やまとめ図で時代の特色を構造化して示している。</li> <li>「人物カードをつくってみよう」や「800字で人物伝記を書いてみよう」等で、具体例を掲載している。(P.16-P.18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭で、日本の世界文化遺産を写真と日本地図で紹介している。</li> <li>各章の終わりに、「時代の特徴を考えるページ」があり、その時代について考察するページがある。(P.67,P.103,P.147,P.209,P.253,P.287等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要語句をゴシック体としている。内容本文のページについては、ほぼ全てのページを同一レイアウトとしている。</li> <li>各章始めに男女のキャラクターが学習課題設定の場面で登場し、学習を促すことばを掛けている。年表に「小学校で学んだ人物紹介」のコーナーを掲載している。(P.19,P.69等)</li> <li>各章末の全てページにおいて、同一の構成及びレイアウトとしている。(P.64-P.68,P.100-P.104等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>序章第4節に「800字で人物伝記を書いてみよう①②」があり、800字で人物をまとめる例が示されている。(P.17,P.18)</li> <li>見開き2ページの後に「チャレンジ」があり、説明したり表にまとめたり比較したりする課題が設定されている。(P.55,P.61,P.71等)</li> <li>「時代の特徴を考えるページ」が各章末に設定しており、作文や意見交換会、人物やものの比較の文章の作り方が示されている。(P.64-P.68等)</li> </ul>